

四辻高架橋及び木戸山トンネルの点検の実施概要について

1. 主旨

橋梁・トンネルの多くは高度成長期（1955～1973年）に建設され、今後、老朽化が一斉に進むことから、多額の修繕等の維持管理に要する費用が急増することが懸念されています。

当事務所では、橋梁・トンネル等の重要な道構造物について、その損傷・劣化等を将来にわたり把握することにより、効果の高い維持管理を計画的・戦略的に推進しています。そのため、修繕計画を策定し定期的な点検及び必要に応じた補修・補強を実施しています。

当事務所管内では、平成22年4月1日現在、橋長2m以上の橋梁815橋を管理しており、642箇所（約78.7%）の橋梁の健全性を確認しています。

この点検・診断済みの橋梁815橋のうち、142橋（約17.4%）が速やかに補修等を行う必要がある橋梁（C判定）と判定し、その点検・診断結果に基づく早期発見・早期補修の予防保全対策に計画的に取り組んでいるところです。

同じくトンネルについても平成22年4月1日現在、トンネル37箇所を管理しており、34箇所（約91.9%）のトンネルについて点検・診断を終了しています。

この点検・診断済みのトンネル34箇所のうち、5箇所（約14.7%）が速やかに補修を行う必要があるトンネル（A判定）と判定し、その点検・診断結果に基づく早期発見・早期補修の予防保全対策に計画的に取り組んでいるところです。

今回、整備局・事務所・出張所の職員（管理担当以外の職員も含む）により下記の橋梁・トンネルについて管理上、特に重要である「点検」を行い、損傷状況と健全度について現地確認し、その対応方針について検討を行います。

近年、橋梁・トンネルの老朽化が進展し、早期発見・早期補修の保全対策の重要性が高まるなか、橋梁・トンネルの現状と対策の必要性を広く一般にご理解頂くため、現地における「点検」を公開して実施することとしましたのでお知らせします

なお、当該点検では、高所作業者を用的近接目視・打音等の点検を実施します。普段近接する機会のない、橋梁・トンネルに近接して頂くことでより詳細な状況を確認頂くことが出来ます。

2. 実施日時 平成22年10月28日（木） 9:40～12:00

3. 実施場所 山口市阿東町篠目地先 国道9号木戸山トンネル
山口市鑄銭司地先 国道2号四辻高架橋

4. 点検実施者

中国地方整備局 山口河川国道事務所職員 約20名

5. 実施内容

9:40頃 木戸山トンネルの点検（損傷状況について確認）。
11:00頃 四辻高架橋の点検（損傷状況の過去点検との比較）。

6. 集合場所

R9：木戸山トンネル



※〇は集合場所を示し、9:40分迄にトンネル起点側へ集合下さい。

R2：四辻高架橋



※〇は集合場所を示し、11:40分迄に小郡道路側道部へ集合下さい。

6. 点検実施トンネル・橋梁の概要

■木戸山トンネル (きどやまトンネル)

位置：国道9号 山口市阿東町篠目地先

建設年次：1961年 (建設後49年経過)

トンネル点検判定区分：初回点検



■ 四辻高架橋（よつつじこうかきょう）

位置：国道2号 山口市鑄銭司地先

架設年次：2000年（建設後10年経過）

橋梁点検判定区分：B判定・・・状況に応じて補修を行う必要がある。
（床版のひびわれ等）



7. その他

今年度完了した橋梁補修事例（H22 補修予定橋梁数：48橋）

■ 入船橋（いりふねばし）

位置：国道9号 下関市長府港町

架設年次：1932年（建設後78年経過）

橋梁点検判定区分：C判定・・・速やかに補修等を行う必要がある。
（桁部コンクリートの「うき」）

【補修前】

2009年12月現在

【補修後】

2010年5月現在



※一般国道9号 入船橋において、塩害による桁部コンクリートの「うき」などが確認され修復を行った。